

1. 「アメリカと私」

①適者生存

※適者生存:「病人は不適者」(P25)、「それは(英語を使うこと)私が「適者」であることを証明するための第一歩である」(P32)

- 1 自分のなかの何かが変わった [1962年、29歳の時]
- 2 アメリカへの入国、奥さんの発病、最初に着いたのはロサンゼルス?
- 3 病院をいろいろ探す、ロサンゼルスについて
- 4 「家内の病気のおかげで、私たちはいつの間にか、米国社会の内側にはいりこんでいた。」(P26)

◎外国で生活するということ

・「外国暮らしの『安全圏』も一年までだね。・・・二年いると自分のなかのなにかが確実に変わってしまう」(P11)

・「そういう暮らしかたをとにかく2年間続けて来たにもかかわらずーあるいはそのためにー、私は、いま自分のうちになにかが変わったと感じている。」(P13)

・外国に2年以上生活すると、何が変わるのか? 何故1年とは違うのか?

②プリンストン

※プリンストン:ニュージャージー州、ニューヨークの南西約70キロ、人口2万8千人

- 1 町の様子、「この美しい大学町の中に、そこに属するものとして自分を思い描くことは、きわめて困難であった。」(P29)
- 2 ジャンセン教授がアパートを見つけておいてくれた、アパートの様子、翌々日にはアパートへ引っ越し
- 3 日本人政治学者M氏のところで夕食をご馳走になり帰宅、アパートの様子

◎アメリカの地方都市

・日本の地方都市との違いは?

③大学

1 プリンストン大学:1746年創立、合衆国で5番目に古い大学、学生数:学部約5400人

・大学院約2700人、はじめはニューヨークに近いエリザベスにあった、

2 「十八世紀英文学研究のため」という自分の計画を断念した。(P44)

「私は、まず、自分が自分であってそれ以外の何者でもないことを、自分を育てた日本の歴史と文化遺産の一切とともに、引受ける必要があった。」(P48)

3 日本文学を教えているピリエルモ助教授に会う

◎アメリカの大学と日本の大学の違い

・日米の大学で、主にどのような点が違うのか

④城(一死と蘇生、及び自動車のこと)

※城:「全く大学は「城」であった。・・・」(P56)

1 「カフカの小説に出てくるあの不思議な「城」に似ていた」(P56)

- 2 アメリカでは自動車は生活必需品、古いフォード車を購入、免許を取る（家内が先）、4つの大小事件（ミシシッピ大学事件と「キューバ危機」は、米国を浮かび上がらせた）

⑤パーティー

1 私たちは、家内の誕生日にあたる12月20日に、プリンストンに着いてから最初の、大人数のパーティーを計画した。(P72)

2 パーティーの準備、パーティーの様子

「真珠湾奇襲が倫理的に許すべからざる卑劣な手段だという、今なお米国人のあいだに広く浸透している解釈をうけいれることはできなかった。」(P83) [←米は事前に察知?]

3 パーティーの続き

◎アメリカにおける「パーティー」の意味、パーティーの特質、など

- ・アメリカではパーティーが盛んに行われる
- ・パーティーの意味や特徴に、日本との大きな違いがあるのではないか

⑥東と西〔この節は省略〕

※東と西:米国の社会と日本の社会(P95)

⑦普林亭主人

※普林亭:「普林」はプリンストンの中国読み

アパートの3階の一番小さな八角形の部屋を「普林亭」と名付けた。(P102)

1 アパート内での引っ越し(2階→3階)

アール婦人が許せない2つのこと:ナチスのユダヤ人虐殺と真珠湾奇襲(P106)

2 ランボーナ医師夫妻のこと

◎「真珠湾奇襲」の重み〔⑤パーティーの中にも出てくる〕

- ・アメリカ(人)にとって、「真珠湾奇襲」というのは歴史的に重い事件である

⑧学生たち

1 初めての授業「古典日本文学」、「まともな職業」、教室での授業、日本文学史の英訳

2 奥さんの活躍(生け花)、大学院のセミナー「近代日本作家研究」、三人の学生、ネルソン君の問題

⑨事件

※事件:ケネディー暗殺事件の勃発

1 ラジオのニュース、ジョンソンの大統領就任、

2 ケネディー大統領の暗殺、オズワルド逮捕

3 ジョンソン新大統領の就任第一声、土曜日の「ニューヨーク・タイムズ」の記事

4 オズワルド殺される、月曜日の追悼式に出かける、火曜日には全て元に戻った

◎ケネディー暗殺事件

- ・1963年11月22日(金)、テキサス州ダラス市、犯人オズワルド(2日後に殺される)

⑩別れ

※別れ:プリンストンとの別れ

1 「Faculty Fellow」への推薦、

2 イーティング・クラブ、上位の5つのクラブ、・・・

3 プリンストンとの別れ

江藤淳関係年表

西暦	元号	江藤淳	年齢	村上春樹	年齢	内閣総理大臣	日本	アメリカ	世界
1932	昭和7	誕生(東京都多摩郡)	0			犬養毅/斎藤実			
		4歳で母病死							
1945	昭和20		12				ポツダム宣言 国際連合発足	ユネスコ設立	朝鮮半島南北分裂 (米) ルーズベルト大統領→トルーマン大統領
1946	昭和21	鎌倉に転居 旧制湘南高校入学	13				日本国憲法公布		
1947	昭和22		14						パリ講和条約
1948	昭和23	旧制日比谷高校へ転校	15						ベルリン封鎖 大韓民国成立
1949	昭和24		16	誕生	0				HATO結成 中華人民共和国設立
1950	昭和25		17		1	吉田茂		マッカーシズム	朝鮮戦争 中ソ友好同盟相互援助条約成立
1951	昭和26		18		2	吉田茂	サンフランシスコ平和条約締結	太平洋安全保障条約	
1952	昭和27		19		3	吉田茂		水爆初実験	
1953	昭和28	慶応義塾大学入学	20		4	吉田茂		アイゼンハワー大統領	朝鮮戦争休戦
1954	昭和29	喀血、自宅で療養	21		5	吉田茂/鳩山一郎		マッカーシー失脚	パリ協定西ドイツ主権回復
1955	昭和30	「夏目漱石」発表	22		6	鳩山一郎	55年体制 GATT加入	キング牧師バスボイコット運動	東ヨーロッパ相互援助条約成立
1956	昭和31		23		7	鳩山一郎/石橋湛山	日ソ共同宣言 国連加盟		
1957	昭和32	慶応義塾大学英文科卒業 結婚 大学院進学	24		8	石橋湛山/岸信介		公民権法	ソ連の人工衛星スプートニク打ち上げ成功
1958	昭和33		25		9	岸信介			
1959	昭和34	大学院中退	26		10	岸信介			キューバ革命
1960	昭和35		27		11	岸信介/池田勇人	日米新安保条約 (所得倍増計画)	OECD調印	
1961	昭和36	「小林秀雄」発表	28		12	池田勇人		ケネディ就任 ニューフロンティア政策 対キューバ国交断絶	
1962	昭和37	プリンストン大学留学 「小林秀雄」新潮社文学賞受賞	29		13	池田勇人		キューバ危機	
1963	昭和38	日本文学史講義	30		14	池田勇人		ワシントン大行進 ケネディ暗殺→ジョンソン大統領	
1964	昭和39	帰国	31	兵庫県立神戸高等学校入学	15	池田勇人/佐藤栄作	東京オリンピック	公民権法成立	
1965	昭和40	「アメリカと私」	32		16	佐藤栄作	日韓基本条約	ベトナム介入 北爆開始	ベトナム戦争
1966	昭和41		33		17	佐藤栄作			
1967	昭和42	「成熟と喪失」	34		18	佐藤栄作		アトロイト黒人暴動	第3次中東戦争
1968	昭和43		35	早稲田大学第一文学部入学	19	佐藤栄作	小笠原諸島返還	キング牧師暗殺	パリ和平会議→北爆停止 ソ連東欧5カ国軍チェコ侵入
1969	昭和44		36		20	佐藤栄作	東大安田講堂事件 沖繩返還交渉	アポロ11号月面着陸 ニクソン就任	
1970	昭和45	「漱石とその時代」菊池寛賞、野間文芸賞受賞	37		21	佐藤栄作			
1971	昭和46	東工大助教授のち教授	38	学生結婚	22	佐藤栄作		ドルショック	中華人民共和国国連加盟
1972	昭和47		39		23	佐藤栄作/田中角栄	沖繩返還 田中首相訪中→日中共同声明 円変動相場制 石油危機	ニクソン訪中 ウォーターゲート事件	
1973	昭和48		40		24	田中角栄		ベトナム和平協定調印	第4次中東戦争(石油危機) チリ軍事クーデター アフガニスタンクーデター
1974	昭和49		41	ジャズ喫茶開業	25	田中角栄/三木武夫		ニクソン辞任→フォード大統領	ポルトガル軍事クーデター=民主化
1975	昭和50	文学博士号取得 「海は蘇える」日本芸術院賞	42	早稲田大学卒業	26	三木武夫			ベトナム戦争終結 第一次石油危機 蒋介石死
1976	昭和51	日本芸術院賞受賞	43		27	三木武夫/福田赳夫	ロッキード事件		周恩来首相死 毛沢東中国共産党主席死 「4人組」逮捕
1977	昭和52		44		28	福田赳夫		カーター大統領	鄧小平復活
1978	昭和53		45		29	福田赳夫/大平正芳	日中平和友好条約	キャンプデービッド会合	キャンプデービッド会合(米、エジプト、ベギン=イスラエル)

昭和

		(江蘇)	(村上)	(日本)	(アメリカ)	(世界)
1979	昭和54	46	「風の歌を聴け」	30	大平正芳 東京サミット	米中国交正常化 スリーマイル 島原発事故 台湾と断交 ソ連アフガン軍事介入 米中国 交正常化 朴正熙暗殺 中越戦 争 イラン・イラク戦争開始
1980	昭和55	47	「1973年のピンボール」	31	大平正芳/鈴木善 幸	
1981	昭和56	48		32	鈴木善幸	レーガン大統領 スペースシャ トル打ち上げ
1982	昭和57	49	「羊をめぐる冒険」	33	鈴木善幸/中曽根 康弘	フォークランド紛争
1983	昭和58	50		34	中曽根康弘	大韓航空機事件
1984	昭和59	51	「螢・納屋を焼く・その他の 短編」	35	中曽根康弘	ロスオリンピック
1985	昭和60	52	「世界の終わりとハードボイ ルド・ワンダーランド」	36	中曽根康弘	男女雇用機会均等法
1986	昭和61	53	欧州滞在 「バン屋再襲撃」	37	中曽根康弘	東京サミット
1987	昭和62	54	「ノルウェイの森」	38	中曽根康弘/竹下 登	国鉄民営化
1988	昭和63	55	「ダンス、ダンス、ダンス」	39	竹下登	ブラックマンデー
1989	昭和64	56		40	竹下登/宇野宗佑 /海部俊樹	消費税率5%導入 リクルート事 件
	平1	57		41	海部俊樹	ブッシュ父大統領 マルタ会談 冷戦終結 ビルマ →ミャンマーに
1990	平2	58	「遠い太鼓」「晴天雨天」	42	海部俊樹	東西ドイツ統一 イラクのクエ ート侵攻
1991	平3	59	プリンストン滞在	43	海部俊樹/宮沢喜 一	湾岸戦争
1992	平4	60	日本文学講義担当 「国境の 南、太陽の西」	44	宮沢喜一	PKO法成立 ロス黒人暴徒化 北米自由貿易 協定調印
1993	平5	61	タフツ大学へ	45	宮沢喜一/細川護 熙	55年体制崩壊 クリントン大統領
1994	平6	62	「やがて哀しき外国語」「ね じまき鳥クロニクル」第1部第 2部「使いみちのない風景」	46	細川護熙/羽田孜 /村山富市	
1995	平7	63	「夜のかもざる」「ねじまき 鳥クロニクル(第3部)」	47	村山富市	阪神・淡路大震災 地下鉄サ リン事件
1996	平8	64	「レキシントンの幽霊」	48	村山富市/橋本龍 太郎	住専処理法 対イラン全面禁輸
1997	平9	65		49	橋本龍太郎	消費税5%
1998	平10	66		50	橋本龍太郎/小淵 恵三	アトランタオリンピック
1999	平11		「妻と私」発表 7月 自殺	51	小淵恵三	国旗・国歌法
2000	平12		「神の子どもたちはみな眠 る」	52	小淵恵三/森喜朗	ユーロ誕生
2001	平13			53	森喜朗/小泉純一 郎	ブッシュ子大統領 同時多発テ ロ事件 アフガン攻撃開始
2002	平14		「海辺のカフカ」	54	小泉純一郎	日韓サッカーWC
2003	平15		「キャッチャー・イン・ザ/ ライ」(翻訳)	55	小泉純一郎	イラク派兵 欧州通貨統一 イラク戦争
2004	平16		「アフターダーク」	56	小泉純一郎	
2005	平17		「東京奇譚集」	57	小泉純一郎	郵政民営化
2006	平18			58	小泉純一郎/安倍 晋三	
2007	平19			59	安倍晋三/福田康 夫	
2008	平20			60	福田康夫/麻生太 郎	洞爺湖サミット
2009	平21		「1Q84 BOOK1、BOOK2」 「1Q,BOOK3」	61	麻生太郎/鳩山由 紀夫	オバマ大統領
2010	平22			62	鳩山由紀夫/菅直 人	
2011	平23			63	菅直人/野田佳彦	東日本大震災
2012	平24			64	野田佳彦/安倍晋 三	
2013	平25		「色彩を持たない多崎つくる と彼の巡礼の年」	65	安倍晋三	
2014	平26			66	安倍晋三	消費税8%
2015	平27		「職業としての小説家」	67	安倍晋三	
2016	平28			68	安倍晋三	
2017	平29		「騎士団長殺し」	69	安倍晋三	トランプ大統領
2018	平30					
2019	平31					